

第 30 回日本疫学会学術総会運営業務企画コンペ参加要領

1 趣旨

第 30 回日本疫学会学術総会運営業務委託業者選定要綱に基づき、運営業務企画コンペの参加方法について定めるものとする。

2 第 30 回日本疫学会学術総会の概要

(1) 趣旨

日本疫学会は、疫学研究の進歩発展と会員相互の交流を目的に、1991 年に発足した新しい学会である。

いま、世界的な高齢化、超高齢化を迎えて、そして日本では少子化も加わり、健康に関する問題は益々複雑になっているが、その複雑化する健康問題に対処するため、疾病や健康に関する事象の発生要因の解明、予防対策の計画、実行、評価、社会制度の改変、整備等、幅広い分野での活動に、疫学の知識、技能、技術の重要性が役割として益々高まっている。

疫学を担う、あるいは活用する人材として、予防、臨床、看護、介護の分野のみならず、広く心理学、社会科学、政策学等の文化系の学問や実践の分野の人々の参加が重要であり、本学会はその交流の場である。

日本疫学会学術総会は、疫学研究の進歩発展と会員相互の交流を目的に毎年学術総会を開催しており、第30 回大会(大会長 京都大学大学院医学研究科健康情報学分野 教授 中山健夫)は、特別講演、シンポジウム、一般口演等を通して発信していく。

(2) 概要

- ① 名 称：第30回日本疫学会学術総会
- ② 開催時期：2020年2月20日(木)～22日(土)の3日間
- ③ 開催場所：京都大学 百周年時計台記念館(予約済)
(〒606-8501 京都市左京区吉田本町)
- ④ 参加者数：約 600 人の見込み
- ⑤ 学術総会・特別行事(予定)

特別講演、メインシンポジウム、各学会委員会企画シンポジウム、疫学セミナー、一般口演(約 50 題)、ポスターセッション(約 250 題)、企業展示等

3 運営業務委託の内容等

後述の「第 30 回日本疫学会学術総会運営業務等委託仕様書」(以下「仕様書」という。)のとおり。

4 参加方法

- (1) 「運営業務企画コンペ参加申込書」並びに「第 30 回日本疫学会学術総会運営業務に係る企画提案書」の提出

別紙様式1、2に必要事項を記入の上、2018年10月19日（金）17時までに、6の提出先に持参、または郵送（同日必着、書留郵便に限る）にて提出すること。なお、提出前に下記の問い合わせ先に電話もしくは電子メールにて連絡を入れること。

(2) プレゼンテーションの実施

実際の受託業務の総括責任者（業務の遂行に責任を持つ者）として従事する者が、プレゼンテーションを行うこと。

日時：2018年11月2日（金）（午後）または11月7日（水）（午前もしくは午後）

（日時の詳細は後日連絡）

場所：京都大学医学部構内（詳細は改めて指定）

(3) 応募資格

過去5年間に医学系学会の開催実績を有し、かつ運営に習熟している事業者に限る。

5 受託事業者の決定方法

見積額、企画書及びプレゼンテーションの結果を基に総合的に評価して受託希望者を選定する。受託事業者の決定後、業務の進め方等の打ち合わせを行い、業務内容の細部を決める。また、契約締結後、学会・学術総会の規模、プログラム内容等により契約金額を変更する場合もある。

6 問い合わせ・企画提案書等提出場所

第30回日本疫学会学術総会事務局

（京都大学大学院医学研究科健康情報学分野）

住所：〒606-8501京都市京都市左京区吉田近衛町医学部構内G棟202

電話：075-753-9477

FAX：075-753-9478

電子メール：jea30@hi.med.kyoto-u.ac.jp